

同心

DOHSIN

2015 16号

クリニックだより

発行者

医療法人・いしぐるクリニック

金沢市窪4丁目515番地

TEL (076)243-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、癒すひと。同じ心でいたいものとの願いからつけました。

「むねとおなか伊藤醫院」

開院のおしらせ

院長 伊藤

博

いしぐるクリニックの向かいで、「むねとおなか伊藤醫院」を五月十五日（金）に開院します。胃や腸などの消化器の病気、心臓病や糖尿病などの内科系の病気の診断から治療、予防までを専門的かつ総合的に行うためのクリニックです。

私が専門としている胃・大腸の領域では、大腸がんが年々増加しています。検診の重要性が叫ばれています。大腸内視鏡検査を行うクリニックが少ないため、検診の受診率が低いのが実情です。また、胃がんは、日本人がもつとも多くかかるがんで、男性は九人にひとり、女性は十八人にひとりが胃がんになります。そのほとんど

はピロリ菌の感染によって発症することがわかっています。日本人のピロリ菌感染者数は六〇〇〇万人にも達すると試算されているものの、ピロリ除菌療法が普及しているとはいえません。

そこで、当院では、最新の内視鏡システムやマルチスライスCT装置を導入しました。胃がんや大腸がん、肺がんなどの早期発見、早期治療のため、専門医が最新の知識と技術を結集します。人間ドックや健康診断・がん検診・企業検診などにも、これらの高度医療

機器を利用します。また、脳卒中、心臓病、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満などの生活習慣病に対しても、従来どおり、いしぐるクリニックと強固なタッグを組む、また金沢大学附属病院の専門医とも連携して総合診療を行います。むねからおなか、おしりに至るまでどんな些細な症状でもご相談ください。



伊藤醫院



マルチスライスCT

一般的なCTの検出器が一つに
対して、十六以上あるものをマル
チスライスCTと呼びます。検出
器とは人の目に相当するもので
す。その数が増えるほど、微小な
病変を速く正確にとらえることが
できます。当院の十六スライスC
Tは最新鋭の高画質マルチスライ

マルチスライスCTは
早期がんの発見に役立ちます

の肺がんを容易に見つけ
ることができます。また、
脾臓がんも、マルチスラ
イスCTで比較的初期の
段階で発見することが可
能になりました。がんは、
早期に発見できればほぼ
一〇〇%治せるもので
す。もう、がんは怖くな
い病気になったのです。

最大の特徴は、ごく小さな病変
を見つけることができること
です。肺がんは、がん死因の第一位
です。一般検診の胸部X線では見
つけることが難しいのがその理由
です。しかし、このマルチスライ
スCTでは、五ミリ以下の超早期

スCTです。

最大の特徴は、ごく小さな病変

を見つけることができること

です。肺がんは、がん死因の第一位

です。一般検診の胸部X線では見

つけることが難しいのがその理由

です。しかし、このマルチスライ

スCTでは、五ミリ以下の超早期



CTコログラフィ

マルチスライスCTを使って大
腸検査ができます。CTで撮影し
た断層画像を立体的に再構成し
て、あたかも大腸内視鏡検査のよ

CTコログラフィ

うに大腸内を観察するものです。
当院では、がんによる狭窄や癒着
などで大腸内視鏡が挿入困難な場
合にこの検査を行います。



内視鏡検査

最新式 ハイビジョン内視鏡

当院では、特殊光観察技術を使った最新式の内視鏡システムを導入しています。従来の白色光では見えなかった小さな「がん」が、特殊光や蛍光色で観察しやすくなりました。詳しくは、伊藤醫院まで。

整形外科担当の清水です。

いしぐるクリニック院長 清水 明

これからの「いしぐるクリニック」は、石黒先生が引き続き理事長を、私が院長を拝命いたしました。

クリニックは、脳と神経、整形外科の患者さんを中心に診療し、内科系の病気の患者さんに向かいの「むねとおなか伊藤醫院」で、それぞれの専門性を高めつつ緊密に連携しながら総合診療を目指します。

さて私が担当する整形外科は、治療する範囲が広く多彩です。つまり頸から足先までの筋、骨格、関節、神経を対象としています。外傷、骨粗鬆症、関節症やリウマチ、椎間板ヘルニアなど色々です。当院は一般開業医院としては早くからMRI、CTなどの設備が整っており、正確で迅速な診断や治療に適した体制となっています。さらに、骨粗鬆症を精密に測定する装置DEXAや、関節や腫

瘍などの観察の為に超音波診断装置の導入を予定しています。

治療においては神経障害性疼痛の薬「リリカ」や痛みを緩和させるオピオイド「トラムセット」などにより、しびれや疼痛に対する治療の選択肢が広がりました。関節リウマチは生物製剤の登場により寛解、関節の修復まで可能となり、骨粗鬆症においては半年に一回の注射薬も登場し日々医療の進歩を感じます。以前「年齢」のせい

にされていた病気もそのうち治療する時代が来るかもしれません。最後に私の趣味についてお話したいと思います。それはバンドと料理です。バンドでは電気ベースという低音の太い弦のギターのよ

ありませんが、最近ではスパイスを買ってきてはインドカレーやタイ料理を作っています。たのしい音楽やおいしい料理は、人を幸せにする力があります。医療においても人を幸せにできるような頑張り



専門医による総合診療グループを目指して



いしぐろクリニック理事長 石黒 修三

生涯現役で

医者になって、もうすぐ半世紀になります。「後継ぎもいるのだし、もう引退しても良いのでは」と、アドバイスをしてくれるひとがいます。でも、私は生涯現役のつもりです。歳を取って、時間的にも経済的にも余裕ができて、より良い医者になれそうだからです。

専門バカの時代

ただの良い医者になるだけでなく、簡単ではありません。たくさん勉強をして、知識や技術を身に付けて専門医になります。でも、医学は進歩し、その細分化はとどまるところを知りません。脳神経に限ってみても、脳卒中は専門だが脳腫瘍は苦手だという医者が出てきます。つまり、専門バカの医者が増えてくるわけです。

自分の専門科の患者さんを診る

のでさえ得手不得手があったら、専門外の患者さんの病気など正しく診断できるわけがありません。医学の進歩に伴うマイナスイ面を補うためには、ひとりひとりの医者が、これまで以上に勉強しなければなりません。が、個々の医者の努力や能力には限界があります。

グループ診療の必要性

個人でダメならグループです。大病院や大病院にはたくさん専門科があり、多くの専門医がいます。それぞれの科の専門医がグループを作って総合診療をすればよいのです。が、これがなかなか難しい。理想を拒む複雑な問題があります。学問はできて専門バカであることの自覚がない医者も多数います。診療科どうしの連携が悪いために、病院の専門科をた

らいまわしされ、どこの科でも自分の専門の病気ではないと言われる。本当の病気は何か分からずじまいです。

八人の専門医で

脳と神経が私の専門分野ですが、金沢大学から脳神経外科と神経内科の専門医が応援にきます。患者さんの中には、メタボや糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病や心臓病のかたがたくさんいらっしゃいます。肺がんや胃がんの患者さんも少なくありません。そういった内科系の患者さんは、「むねとおなか伊藤醫院」で専門的に診てもらいましょう。金沢大学から内科の専門医が三名派遣されます。クリニックには、腰や膝の痛み、手足のしびれなどに悩むひととたくさんおられます。骨や関節、筋肉の患者さんは整形外科専門医の清水先生に診てもらいましょう。全部で八人の専門医による総合診療で、患者さんのニーズに応えられるよう頑張っていきます。

いしぐろクリニック診療案内

		月	火	水	木	金	土
清水 (整形)	午前	●	●	●	●	●	●
	午後	—	●	—	●	金大Dr	—
石黒 (脳神経)	午前	●	●	●	●	●	●
	午後	●	—	—	●	金大Dr	—

※金沢大学附属病院非常勤
(月曜AM: 神経内科専門医) (金曜PM: 脳神経外科専門医)
診療時間 平日 午前 8:30~午後 12:30
午後 2:00~午後 6:00
水曜・土曜 午後 12:30まで
日曜・祝祭日 休診

むねとおなか伊藤醫院の診療案内

内視鏡内科 消化器内科 内科 外科
大腸・肛門外科 人間ドック 健康診断
住診・訪問診療
月曜・木曜午前: 金沢大学循環器内科
火曜午後: 金沢大学糖尿病・代謝内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	—	●	13:00 まで

【休診日】木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
<http://www.munetonaka.com>